

#### 4 学習の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準(必修・選択・自由課目別の必要単位修得数及び取得可能学位)

##### 東京工科大学の学位授与の方針について(ディプロマポリシー)

本学の基本理念である生活の質の向上と文化の発展に貢献する人材育成を実現するために、各学部における教育研究上の目的を踏まえて、次のような基準を満たした学生に学位を授与する。

1. 人間社会や自然環境に対する総合的な探究心の習得
  - ・ 人文科学・社会科学・自然科学に関する基礎的な教養を身につけ、広い視野と倫理マナーを持って行動ができる。
  - ・ 人間生活や文化に関する多様な視点を探求し、柔軟な思考・判断ができる。
  - ・ 学生が自ら個性を伸ばし、実社会において課題を発見し、これを分析し、解決できる。
2. 専門領域の知識と技術の習得
  - ・ 各学部・学科の専門分野における知識と技術やスキルを習得している。
  - ・ 実験、実習や演習を通して課題を分析し、他者に報告することができる。
  - ・ 習得した知識や技術を活用して、実社会における課題を解決できる。
3. コミュニケーションとプレゼンテーション能力の習得
  - ・ 英語における「読む、書く、聞く、話す」の基本技能を習得し、国際社会に対応できる実践的な語学を習得している。
  - ・ 実社会に役立つ ICT(情報通信技術)スキルを身につけている。
  - ・ 課題について、文章で表現できる能力と論理的な視点から議論する能力を身につけている。
  - ・ 論文発表会や研究発表会などにおいて論理的に成果報告を行え、他者の発表に対する意見、質問等を述べることができる。

##### バイオ・情報メディア研究科の学位授与の方針について(ディプロマポリシー)

修士課程に2年間以上在籍し、所定の単位を修めるとともに、高度の研究や開発、あるいはマネジメントに従事し、この成果を修士論文としてまとめ、原則として内容の一部または全部を専門の学会において一度以上発表を行ったものに修士号の学位を授ける。

さらに、博士後期課程に1年間以上在籍し(修士課程と合わせて3年以上、標準は修士課程と合わせて5年間)、所定の単位を修めるとともに、この成果を博士論文としてまとめ、内容の一部または全部を専門の学会誌2報(少なくとも1報は欧文誌)に発表し、最終審査に合格したものに博士号の学位を授ける。

### バイオニクス専攻

修士課程においては、生物の持つ機能そのものやそれらを応用した分野における深く且つ広い知識を有し、これらの分野において実践的な研究開発や技術開発を行い、あるいはマネジメントに従事し、修士課程に2年間以上在籍し、所定の単位を修めるとともに、この成果を修士論文研究としてまとめ、内容の一部または全部を専門の学会において1度以上発表を行ったものに修士号の学位を授ける。

また、博士後期課程に1年間以上在籍し(修士課程と合わせて3年以上、標準は修士課程と合わせて5年間)、所定の単位を修めるとともに、この成果を博士論文研究としてまとめ、内容の一部または全部を専門の学会誌2報(少なくとも1報は欧文誌)に発表し、最終審査に合格したものに博士号の学位を授ける。

### コンピュータサイエンス専攻

コンピュータサイエンス専攻の修士課程においては、コンピュータ、ネットワーク、システムを柱とする基盤技術とこれらを応用した分野における深い知識と幅広い視野を養い、これらの分野において実践的で高度な研究や技術開発を行った者に修士の学位を授ける。

博士後期課程においては、独自の研究や技術開発を通じて、ICT分野に関連するより高度で幅広い専門的知識の修得に加え、自ら創造的・先進的なテーマを設定して成果をあげることのできる能力を示した者に対して博士の学位を授ける。

### メディアサイエンス専攻

修士課程においては、メディアコンテンツやメディアサービスの分野における深くかつ広い知識を有し、これらの分野において実践的な研究開発や技術開発、あるいは明確な新しいビジョンを提示したものに修士の学位を授ける。

博士後期課程においては、「特別研究」を履修し、メディア学および関連分野における新たな成果とそれを包括する体系とを含み、かつメディア学およびその関連分野における高度な学術を含み、当該研究分野の今後の発展に大きく寄与する内容を含むか、あるいはメディア学およびその関連分野において学位請求者が自立して研究活動等を行い得ると認められる学術的内容を含むかの優れた学位論文を作成した学生に博士(メディアサイエンス又は工学)の学位を授与する。

### アントレプレナー専攻

所定の単位を取得し、企業経営、事業創造などの分野において、広くかつ深い知識を有し、これらの分野において実践的な研究成果、あるいはビジネスプランを修士論文として提示したもので審査に合格したものに修士の学位を授ける。

## (1) 成績評価

成績評価は、試験の結果および平素の学習状況を総合して判定されます。成績評価は、次表の評価区分によります。評価区分 S・A・B・C・P・R を合格とします。

評価区分	評 点
S	90 点以上
A	80 点以上 90 点未満
B	70 点以上 80 点未満
C	60 点以上 70 点未満
P	合格
R	認定
D(X)	不合格(未受験等は X)

- ・「P」は、合格判定のみ行う科目に対する成績評価です。
- ・「R」は、編入学生等の既修得単位を認定した成績評価です。

## (2) GPA(Grade Point Average)

本学では、学生が自分の学業成績の達成度を客観的に評価できるように GPA を適用しています。GPA とは、各科目の評価ポイントに、単位数を掛けた合計を履修登録単位数で割った値です。この GPA 値は履修登録単位の上限の緩和や成績順位・成績優秀者表彰の選考などに利用されます。

算出方法は以下のとおりです。

$$\text{GPA} = \frac{\text{(各科目の評価ポイント} \times \text{単位数)の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計}}$$

評価ポイント… S:4 A:3 B:2 C:1 P:3 D, X:0

**(2)-1 卒業基準**
**八王子キャンパス**

平成 25 年度入学生

学部	教 養 教 育 科 目	専 門 基 礎 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	合 計
応用生物学部	38 単位以上	42 単位以上	44 単位以上	124 単位以上
コンピュータサイエンス学部	38 単位以上	36 単位以上	50 単位以上	124 単位以上
メディア学部	38 単位以上	38 単位以上	48 単位以上	124 単位以上

**蒲田キャンパス**

平成 25 年度入学生

学部		基 礎 教 育 科 目	専 門 基 礎 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目	合 計
医 療 保 健 学 部	看護学科 (看護師)	18 単位以上	32 単位以上	78 単位以上	128 単位以上
	看護学科 (看護師・保健師)	18 単位以上	35 単位以上	82 単位以上	135 単位以上
	臨床工学科	26 単位以上	56 単位以上	46 単位以上	128 単位以上
	理学療法学科	21 単位以上	41 単位以上	66 単位以上	128 単位以上
	作業療法学科	19 単位以上	45 単位以上	64 単位以上	128 単位以上
デザイン学部		26 単位以上		98 単位以上	124 単位以上

**(2)-2 授与する学位**

学部	学科	学位(学位に付記する名称)
応用生物学部	応用生物学科	学士(バイオニクス)
コンピュータサイエンス学部	コンピュータサイエンス学科	学 士(コンピュータサイエンス)
メディア学部	メディア学科	学 士(メディア学)
医療保健学部	看護学科	学 士(看護学)
	臨床工学科	学 士(臨床工学)
	理学療法学科	学 士(理学療法学)
	作業療法学科	学 士(作業療法学)
デザイン学部	デザイン学科	学 士(デザイン)

## (3)-1 大学院修士課程の修了要件

修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

## (3)-2 大学院博士課程の修了要件

博士課程の修了要件は、大学院に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

## (3)-3 大学院の授与する学位

## 修士課程

専攻	学位(学位に付記する名称)
バイオニクス専攻	修士(バイオニクス)又は修士(工学)
コンピュータサイエンス専攻	修士(コンピュータサイエンス)又は修士(工学)
メディアサイエンス専攻	修士(メディアサイエンス)又は修士(工学)
アントレプレナー専攻	修士(アントレプレナー)

## 博士課程

専攻	学位(学位に付記する名称)
バイオニクス専攻	博士(バイオニクス)又は博士(工学)
コンピュータサイエンス専攻	博士(コンピュータサイエンス)又は博士(工学)
メディアサイエンス専攻	博士(メディアサイエンス)又は博士(工学)